

## 1. 指定管理者(施設)の基本情報

施設名	箕面市立萱野中央人権文化センター
指定管理者	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
指定期間	平成27年度～令和6年度
施設概要	萱野中央人権文化センター、萱野青少年体育館・グラウンド
市支出額	年112,101,204円

## 2. 事業の実施状況

## (1) センター利用に関すること

住民の平等利用の確保	3ヶ月前の事前予約・抽選制
利用者の増加、サービスの向上	らいとぴあニュース発行(隔月・3500部)
利用者等の安全対策に関する業務	消防避難訓練(年度末までに2回実施予定)
職員研修	外部の講座・研修会・視察研修・講師派遣等

## (2) 施設・附属設備の維持管理に関すること

附属設備の保守点検に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
備品に関する業務	備品台帳に基づく管理
修繕に関する業務	委託業者の報告・利用者の苦情等により、予算の範囲内で随時修繕
日常清掃及び定期清掃に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
環境保全に関する業務	電灯の一部LED化とデマンド方式の導入

## (3) 事業実施に関すること

地域ささえあい推進室事業	別紙「事業報告」のとおり
地域教育推進・子育て支援室事業	同上
相談事業	同上

## 3. 利用者の満足度

## (1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	別紙
------------	----

## (2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	別紙
------------	----

## (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	別紙
-----------	----

#### 4. 収支状況

別紙「収支計算書」のとおり

#### 5. 特別提案の状況

月曜日の開館	2017年10月以降、すべての月曜日を閉館しているが、館の保守作業の必要性から、原則として第3月曜日を休館日としている。
会議室及び講座室の分割	2015年度7月利用分より分割できる形で貸館を開始している。
展示コーナーにおける喫茶コーナーの設置	コロナ予防対策上、席を間引き、適切な距離を保つ環境を整えて実施していたが、2021年9月末現在は緊急事態宣言発出のため、原則利用禁止となっている。緊急事態宣言解除後は、毎週木曜日と土曜日の定期的な稼働に加え、当法人が運営している放課後等デイサービスの子どもたちによるカフェを実施していたり、来館者に一息つける機会を可能な限り提供する予定になっている。

#### 6. 指定管理者の自己評価

新型コロナによる緊急事態宣言等の影響で、閉館や開館時間を短縮している期間もあったことから、年度を通して貸館稼働率・利用人数ともに大きく減少している。2020年度だけで270件以上のコロナによるキャンセルがあった。開館時においても予防のため利用を控える団体は多く、キャンセル数以上の影響があったと考えられる。相談業務においては、新型コロナの影響で経済的困窮や家庭内暴力などのリスクが高まることが予想されたことから、貸し付けや給付金等の情報をチラシ配布や戸別訪問で周知するなど、アウトリーチ型の活動をおこなった。また、定額給付金申請やワクチン予約など、高齢者や、非識字の課題を抱える住民を主な対象に、申請サポートも社会福祉協議会や自治会と協力し実施した。地域に相談員が赴くことで、窓口で待機するだけでは拾えない課題を発見することにつながった。

利用者アンケートの結果からは利用者に「おおむね満足」以上の評価を得られたと考えているが、例年どおり、施設、設備や清掃に関する要望を頂戴している。清掃については職員でできることは実施していく等、貸館業務の改善を図っていく。

生涯学習事業や教育事業に関しては、新型コロナの影響により、参加人数や事業内容などを変更せざるを得ない状況があった。複数の小学校から支援学校も含め高校からの登録や参加があるため、コロナによる休校措置など正確な情報把握の時差については連携窓口の整理からなんとか解消してきている。また、オンラインでのセミナー配信や中高生の居場所のオンライン実施など、新たな可能性を感じる取り組みを実施することにつながった。

スタッフに関しては、研修を通じて社会課題へのアンテナを高く持ち、来館する利用者や、地域住民との関係づくりに努めており、次年度以降も引き続き取り組んでいく。